



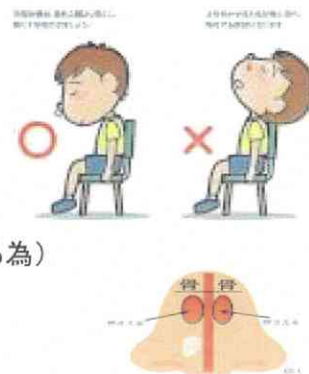
ほけんだより

上庄ひいらぎこども園 5月

暖かい季節になり子ども達の活動もより活発になります。園での生活では、転んでけがをしたり、お友達とぶつかってタンコブを作ったり、熱を出したりとさまざまなことが予測されます。今月は園で行っている処置についてご案内いたします。なお、園での処置は各学会により推奨されるエビデンス(科学的根拠)に基づいた処置を実施しております。

鼻血が出たとき

- ①右図のように楽な姿勢で下を向かせる
(血液が咽喉の方に流れ込まないようにします)
- ②右下図のキーゼルパツハ部位を圧迫止血します
※鼻の穴にティッシュ等は詰めません(鼻腔粘膜に傷をつける可能性がある為)
咽喉に流れ込んだ血液は飲み込まず吐き出します



打撲したとき

RICE処置 (安静・冷却・圧迫・挙上)を行います
顔の打撲の場合は湿布薬の貼付は行いません
(顔の皮膚は薬剤に敏感なため)



発熱したとき

- ①冷却材(冷えピタ等)の貼付部位は図のように首・腋下・足の付け根です
この部位を冷やす理由は動脈が通っており効果的に冷やすことができる為です
頭部冷却は、かたい骨で覆われる脳を冷やすことは困難であり意味はないのですが本人が「気持ちがいい」というレベルでの使用にしております
- ②脱水予防のため水分補給を行います
- ③適宜体温測定を行い体温37.5℃でご連絡 38.0℃で御迎えをお願いしております



怪我をしたとき

- ① 水道水での傷の洗浄
 - ② 皮膚保護材の貼付
皮膚保護材は 傷の状況やお子様の理解度等により選択あるいは貼付しない場合もあります
※消毒液は原則使いません ただし泥水や釘等での傷は感染の恐れがあるため中水準(イソジン等)での消毒をします
- 消毒液を使用しない理由**
傷が自ら治癒しようとするプロセスを消毒液が阻害するため原則、使用していません

これから夏風邪(手足口病・ヘルパンギーナ・プール熱)も流行する時期になります。感染対策の基本は手洗いです。正しい手洗い方法・正しいタイミングが重要です。コロナウイルスで大変な時期ですが一緒に頑張りましょう!

